

臨床の 玉手箱

保存修復編

監修 鷹岡竜一 大谷一紀
鷹岡歯科医院 大谷歯科クリニック

編集委員 鎌田征之 稲垣伸彦
鎌田歯科医院 みどりが丘歯科クリニック



臨床の玉手箱シリーズ第2弾 『保存修復編』いよいよ刊行！

う蝕や外傷で崩壊した歯を補修する「保存修復学」。各種材料の進化やテクニックの開発により、低侵襲で長期予後の期待できる歯科治療として、より一層注目を集めています。

本書は、

- 最新の病因論から診断のポイントを学ぶ
- 疫学から疾患の傾向と将来を考える
- 材料の特性を踏まえた治療計画を立案する
- 長期予後を支える術前処置を見直す

など、多くの臨床医のニーズを満たす情報が集約されています。保存修復治療の実践に欠かせない科学的背景・診断・材料・手技について、6 カテゴリー全 69 トピックスにわたって解説された本書は、若手歯科医師はもとより、ベテラン歯科医師の臨床アップデートにも最適な一冊となるでしょう。保存修復の玉手箱を、ぜひ皆さんの臨床にお役立てください。

A4判・188頁・オールカラー
本体 11,000円＋税

詳しい情報は
こちら



保存修復のトップランナーによる “最高のギフト”を玉手箱に収めました！



病因論から診断法まで、う蝕に関する理解をさらに深めることができます



患者指導から歯髄を守るう蝕処置まで、前処置のポイントを具体的に解説しています



治療環境の整備のしかたや接着時のポイントなど、予後を大きく左右するノウハウを多数収載しています



基本的な臨床手技に加え、直接法では今日から応用できるさまざまなテクニックを多数紹介しています

- 01 う蝕の最新病因論
- 02 う蝕の疫学—最新のう蝕事情—
- 03 う蝕の分類
- 04 う蝕活動性の評価
- 05 初期う蝕を見逃さない！
う蝕の診断 他

第2章 歯髄を守るための前処置

- 01 修復処置前に行う患者指導
- 02 初期エナメル質う蝕へのアプローチ
- 03 歯髄に近接したう蝕処置
① IPC 法
- 04 歯髄に近接したう蝕処置
② シールドレストレーション
- 05 露髄を伴うう蝕処置
① 全部断髄 他

第3章 治療環境の整備

- 01 既存の修復物の除去
- 02 ラバーダム防湿の必要性和臨床的意義
- 03 隔壁法
- 04 ラバーダム防湿法
- 05 簡易的防湿法—ZOO— 他

第4章 コンポジットレジン修復

- 01 コンポジットレジンの進歩とこれから
- 02 接着材料の進歩とこれから
- 03 接着システムの分類と特徴 ①
接着操作の簡略化がもたらすもの
- 04 接着システムの分類と特徴 ②
ユニバーサルアドヒージブ 他

第5章 インレー修復

- 01 直接法（CR 修復）でどこまでできるか
- 02 インレー修復とは
—インレー、アンレーの違い—
- 03 インレー修復に用いるマテリアル ①
メタルインレー、コンポジットレジンインレー
- 04 インレー修復に用いるマテリアル ②
セラミックインレー 他

第6章 さらなる適応症の拡大

- 01 失活歯へのコンポジットレジン修復
- 02 直接法コンポジットレジンブリッジ修復の臨床応用
- 03 MI を考慮した間接修復
部分被覆するデザインについての考察

